



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月27日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年11月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	36,531	△1.9	3,328	74.7	2,898	32.9	2,186	48.1
28年3月期第2四半期	37,233	6.8	1,904	54.4	2,181	52.3	1,475	46.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △2,194百万円(-%) 28年3月期第2四半期 768百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	26.69	26.65
28年3月期第2四半期	18.07	18.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	89,849	68,769	76.5
28年3月期	92,845	71,253	76.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 68,707百万円 28年3月期 71,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
29年3月期	—	6.00			
29年3月期(予想)			—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	76,000	1.3	5,300	29.2	5,000	10.3	3,400	7.9	41.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	82,623,376株	28年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	676,262株	28年3月期	752,082株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	81,907,577株	28年3月期2Q	81,681,061株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成28年11月8日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費が改善するなど堅調な景況感が続き、欧州でも英国のEU離脱問題で金融市場が混乱しましたが、ユーロ圏景気は回復傾向をたどりました。また、アジアでは中国の景気減速が続きましたものの、ASEAN諸国の景気は回復の兆しが現れました。一方、日本経済は、雇用・所得環境が堅調でしたが、年初からの円高進行を受けて企業収益改善に足踏みが見られ、景気回復のペースが鈍くなりました。

当社グループの事業環境につきましては、自動車関連分野では国内自動車生産の一時的停止がありましたもののグローバルでは安定した生産が続き、半導体関連分野の需要も好調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、主力成長製品及び新製品の拡販に注力した営業活動を国内外で継続展開し、生産能力増強、生産性及び品質向上などを目的とした設備投資を積極的に進めてまいりました。また、本年4月に発足させた開発本部と生産本部は、その機能と責任を明確にしたうえで、営業本部と三位一体の事業運営を徹底し、事業環境変化に即応することに努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は365億31百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は33億28百万円（前年同期比74.7%増）、経常利益は28億98百万円（前年同期比32.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億86百万円（前年同期比48.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、主力の自動車関連入力デバイスの出荷が堅調に推移しました。円高の影響などを受けて、全体として売上げは前年を下回りましたが、利益は前年を上回りました。

入力デバイスは、自動車電装スイッチの種類が増加したことに加え、搭載車種も増えて、キースイッチ及びタッチスイッチの出荷が安定的に推移しました。薄型ノートパソコン用のタッチパッドは、パソコン市場停滞の影響などにより落ち込みました。ディスプレイ関連デバイスは、海外販売を中心とした液晶接続用コネクタが低調で、また、コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタがスマートフォン生産調整の影響などにより伸び悩みました。

この結果、当事業の売上高は93億69百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は7億98百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器の出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も大きく伸ばしました。

半導体関連容器は、半導体業界の高水準な需要を背景に、主力の300mmウエハー用製品の出荷が好調に推移しました。OA機器用部品は、主要ユーザー向け出荷の伸び悩みと円高の影響により、落ち込みました。キャリアテープ関連製品は、自動車電装分野向けの需要が堅調でしたが、スマートフォン用セラミックコンデンサーなどの微細部品用製品が振るいませんでした。シリコンゴム成形品は、医療関連製品や建材関連製品など主力製品が安定的に推移しました。

この結果、当事業の売上高は154億66百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は23億67百万円（前年同期比68.5%増）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業では、塩ビ関連製品の国内市場での需要低迷と価格競争により全体として売上げは前年をやや下回りましたが、利益は改善しました。

ラッピングフィルムなどの包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向けが回復しましたものの、外食産業向けが減少して売上げは前年並みにとどまりました。塩ビパイプ関連製品は、住宅着工戸数の伸び悩みにより、受注量確保が厳しい状況が続きました。機能性コンパウンドは、国内の自動車生産ライン停止が重なるなどの影響で出荷が不安定でした。外装材関連製品は、九州地区などで災害復旧・復興需要がありましたが、樹脂サイディング事業撤退による売上減少があり、前年を下回りました。

この結果、当事業の売上高は84億61百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は17百万円（前年同期は3億21百万円の損失）となりました。

④その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件の受注を獲得し、売上げは堅調に推移しました。

この結果、その他の売上高は32億34百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は1億45百万円（前年同期比53.7%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月25日に公表いたしました平成29年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,725	36,752
受取手形及び売掛金	17,037	17,644
商品及び製品	5,591	4,958
仕掛品	1,500	1,188
原材料及び貯蔵品	2,276	2,241
未収入金	1,206	827
繰延税金資産	992	1,002
その他	3,018	3,375
貸倒引当金	△394	△376
流動資産合計	69,953	67,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,224	6,498
機械装置及び運搬具(純額)	4,700	4,391
土地	6,415	6,375
建設仮勘定	1,457	933
その他(純額)	972	1,069
有形固定資産合計	19,771	19,268
無形固定資産		
ソフトウェア	298	274
その他	113	107
無形固定資産合計	412	381
投資その他の資産		
投資有価証券	1,265	1,272
繰延税金資産	413	345
その他	1,029	967
投資その他の資産合計	2,708	2,585
固定資産合計	22,892	22,235
資産合計	92,845	89,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,621	11,947
短期借入金	0	0
未払金	2,713	2,447
未払法人税等	603	776
未払費用	2,026	2,334
賞与引当金	1,134	1,210
役員賞与引当金	42	19
その他	893	798
流動負債合計	20,035	19,534
固定負債		
長期借入金	0	0
退職給付に係る負債	1,327	1,229
その他	228	316
固定負債合計	1,556	1,545
負債合計	21,592	21,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	48,667	50,465
自己株式	△528	△475
株主資本合計	70,493	72,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	286
為替換算調整勘定	449	△3,914
退職給付に係る調整累計額	△11	△9
その他の包括利益累計額合計	743	△3,636
新株予約権	15	61
純資産合計	71,253	68,769
負債純資産合計	92,845	89,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	37,233	36,531
売上原価	27,005	24,733
売上総利益	10,227	11,798
販売費及び一般管理費	8,322	8,470
営業利益	1,904	3,328
営業外収益		
受取利息	127	104
為替差益	223	—
その他	95	50
営業外収益合計	446	154
営業外費用		
為替差損	—	554
その他	170	30
営業外費用合計	170	584
経常利益	2,181	2,898
特別損失		
減損損失	53	—
特別損失合計	53	—
税金等調整前四半期純利益	2,128	2,898
法人税、住民税及び事業税	676	744
法人税等調整額	△21	△32
法人税等合計	654	711
四半期純利益	1,473	2,186
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,475	2,186

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,473	2,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	△18
為替換算調整勘定	△599	△4,363
退職給付に係る調整額	△5	1
その他の包括利益合計	△705	△4,380
四半期包括利益	768	△2,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754	△2,194
非支配株主に係る四半期包括利益	13	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,128	2,898
減価償却費	1,577	1,301
減損損失	53	—
受取利息及び受取配当金	△140	△117
為替差損益(△は益)	△137	328
売上債権の増減額(△は増加)	241	△2,164
たな卸資産の増減額(△は増加)	△0	408
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,073	310
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	△90
未払又は未収消費税等の増減額	80	277
その他	460	525
小計	3,192	3,676
利息及び配当金の受取額	164	122
利息の支払額	△13	△12
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△201	△517
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,141	3,269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	89	85
有形固定資産の取得による支出	△1,399	△1,910
その他	45	△87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,264	△1,911
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△366	△367
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△30
その他	72	32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△293	△366
現金及び現金同等物に係る換算差額	△271	△2,742
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,312	△1,751
現金及び現金同等物の期首残高	34,823	35,377
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	166	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,301	33,626

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,077	15,115	8,967	34,160	3,072	37,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,077	15,115	8,967	34,160	3,072	37,233
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失)	727	1,404	△321	1,810	94	1,904

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,369	15,466	8,461	33,297	3,234	36,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,369	15,466	8,461	33,297	3,234	36,531
セグメント利益(営業利益)	798	2,367	17	3,182	145	3,328

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、業績管理をより適切に行うため、従来は「報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)」として開示しておりました項目を各セグメントへ配分する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。